

会 議 録		令和6年9月13日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府中京警察署協議会（令和6年度第2回）		
開催日	令和6年9月12日（木曜日）		
時 間	午後3時から午後4時14分までの間（74分）		
場 所	京都府中京警察署 講堂		
出席者	岡見会長、西田副会長、足立委員、井山委員、近藤委員、杉下委員 続委員、中町委員 服部委員、長谷川委員 （欠席 岩井委員、岩崎委員、馬場委員） 計10人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長、強行犯係長、人身安全・少年係主任 計12人		
諮 問 事 項	警察職員に対する感謝事例紹介について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副会長 2 署長挨拶 3 協議 (1) 要望に対する回答 【委員】 前回の協議会で 「中京署の警察官の対応がソフトであり、警察の存在が身近に感じた が、他の警察官も高圧的にならず、ソフトな対応をお願いしたい。」 「自転車ルールの説明などを、学区や消防団単位で実施してもらえない いか。」 と委員から要望があったが、中京署が要望に取り組んだことがあれば 教えてほしい。 【警察】 署員に対して、「警察官は犯人を捕まえるために、時には厳しい口 調や態度が必要なこともあるが、府民が不快に感じないソフトな対応 や言葉遣いがあるからこそ、警察活動に対する府民の皆様の理解や協力 が得られるものである。」ということを改めて朝礼等を活用して指示 教養した。		

会 議
内 容

【警察】 8月上旬、消防団員65名に対して交通教室を開催した。

その内容は、「自転車は軽車両であること」、「正しい自転車の乗車方法について」、「ヘルメット着用義務について」、「交通事故の発生状況について」の説明と質疑応答を行った。

要望があれば今後も対応したい。

【委員】 先日、消防団員に対し、交通教室を開催していただいた。

たかが自転車とおっしゃるかもしれないが、自転車は一歩間違えれば凶器にもなる。自転車乗車の際は、より一層注意したい。

(2) 諮問事項説明

警察職員に対する感謝事例紹介について

～刑事課長、生安課長、強行犯係長、人身安全・少年係主任

【委員】 今日の事例を聞いて心が震えた。警察官の中で、このように頑張っている方の存在が組織に良い効果や影響を与え、府民からの信頼につながると思う。

【委員】 素晴らしいことと思う。信じて頼ることが「信頼」である。被害者の無念を晴らし、被疑者を罰してくれた。

【委員】 少年自身が心を開き、また、少年の心に寄り添うことは本当に難しい。少年事件に対応した警察官の話聞き、教師時代に関わってきた生徒のことを思い浮かべていた。

【委員】 私も教師として30年ほど中学生と関わってきたが、生徒に対して頑張してほしいという思いで、生徒や保護者に強い言葉を掛けたこともある。中には、鑑別所や少年院に足を運び、生徒と面会をしたこともあった。

少年は、本当は純粋であるが、世の中に反抗したい気持ちがある。しかし、自分が父親になったときや年齢とともに分かってくることもあるだろう。

そんな少年の健全育成に全力を注いでいる警察は、今後も頑張してほしい。

【委員】 警察官が逮捕されたニュースが報道されていた。公務員は、良いことをしてもなかなか報道されないが、逆に不祥事などは大きく報道され、1件でもあると警察はダメと評価される。

今日は、貴重な体験談を聞かせてもらい感動した。

人を助けたい、人の喜ぶ顔が見たいという思いで警察官になった知人がいる。今後も、人に喜ばれるように頑張してほしい。

【委員】 少年補導委員として活動しているが、時代が変わっても声掛けが大事だと思う。

【委員】 警察官が葛藤し、対応に苦労していることが良く分かった。

会 議
内 容

【委員】夫が妻に暴力をふるうため、夫婦は別居していたが、夫の認知症が進んだため、妻は夫の家に行き食事の用意をした。その間、生活安全課の警察官が家の外で待機していたと聞いた。この話を聞いたとき、このような丁寧な対応を警察はしてくれるのかと感心した。

【委員】道路が陥没していたことから、警察に通報したところ、夕方には修復されていたと聞いた。警察が関係機関に連絡を取り、迅速に対応してくれたお陰であり、迅速、丁寧な対応をしてくれたことに感謝し、地元でも広めていきたい。

【委員】警察の仕事はマンパワーであり、人と真正面から向き合うことが一番大事なことだと思う。

私たちは、警察官と距離を感じることは多いが、ソフトで優しいだけではダメである。警察が取り扱う事件事故等は多く、またデジタル化やAI対応も必要であり、それにどう対応するのだが、人が基本である。人を相手にしているからこそ大変だと思う。

(3) その他

【委員】数年前、ある事件があり、中京署で事情聴取を受けたことがある。

私は、犯罪を犯したわけではなく、自治会長という立場であったが、狭い部屋で年配の警察官から高圧的な態度で事情聴取を受けた。もっとソフトに対応してほしい。

【警察】意識が浸透していない。今後も継続的に指導教養を行っていく。

【委員】自転車に対する一時停止違反などの取締りは見掛けるが、自転車の逆走の取締りは見ない。

車を運転中、逆走している自転車が、怖いと思ったことがあるため、烏丸通等の交通量の多い道路で自転車の逆走の取締りをしてほしい。

【委員】ショップを営んでいる友人が窃盗の被害に遭い、店内や近所の防犯カメラに犯人が写っていたことから、警察に情報提供をしたものの、その後、警察から連絡がないようだ。できれば定期的に連絡をもらえないか。

【警察】多くの事件に対応しており、すべての方に対して定期的に連絡することは難しいので、疑問があるときは遠慮なく当署に問い合わせしてほしい。

【委員】最近の若者は、対人関係やコミュニケーションが苦手な子が多い。こういった対応をしているのか。

【警察】電話が苦手な少年に対しては、メッセージ機能を使ってやり取りしている。また、話すことが苦手な少年と対応する際は、慌てず、積極的にコミュニケーションを図るようにしている。

【委員】縦社会の警察の中、昔は教育と言われていたが、今はパワハラなど

と言われ、若手の育成に苦勞しているのではないか。

中京警察署では若手警察官の育成をどのようにしているのか教えてほしい。

【警察】 警察官の業務は人の役に立つ仕事であるということを、定期的に繰り返し教養して使命感の醸成を図っている。

例を挙げると、週1回の朝礼では、副署長が業務や警察官としての心構えを指示したり、各課からも教養を行っている。今後はテーマを決め、グループ討議も計画している。

また、先日は民間企業から講師を招き、仕事に対する心構えなどを講話してもらったほか、現場でミス等があったときは、その都度上司が指導している。

繰り返し指導することが若手の育成には必要であり、今後も署員の気持ちを高めていく教養を行っていきたい。

【委員】 少子化で優秀な人材の確保が難しくなっている中、どのように工夫して人材確保をしているのか。

【警察】 受験者が集まらない厳しい情勢だが、今日の感謝事例紹介にあったように警察の仕事は、犯人を捕まえる、被害者の無念を晴らすなど、安全安心を守る魅力ある仕事であることを府警ではSNSなどを通じて情報発信をしている。

また、当署では8月に業務説明会を開催し、鑑識体験などを通じて警察業務の魅力を発信した。

【警察】 小学生の将来なりたい職業アンケート調査では、上位に警察官があるものの、中学生、高校生になると警察離れが進むことから、現在は年少者だけでなく、中高生にも魅力を感じてもらえる取組を進めている。また、府警を挙げて、リクルーター制度や大学生とのボランティア協働活動に力を注ぎ、情報を発信して人材の確保に努めている。

4 事務連絡

令和6年度第3回京都府中京警察署協議会は、令和6年12月上旬ころ実施予定である。

以上

会議
内容

第2回京都府中京警察署協議会の開催状況

